

令和元年度 学校評価アンケート【生徒】の分析

肯定的評価・・・a「よくあてはまる」とb「ややあてはまる」を合わせたもの
否定的評価・・・c「あまりあてはまらない」とd「あてはまらない」を合わせたもの

◎肯定的評価が多いもの（今年度80%以上）

- ・18項目中11項目において、肯定的評価が多くなっている。

○肯定的評価は多いといえないものの（今年度80%未満、60%以上）、比較的良い評価のもの

項目 1 : 校訓「日々新、又日新」を理解している	79.5%
項目11 : 教員はいじめ防止のための丁寧な対応をしている	79.0%
項目15 : 家庭で学校の話をする	77.5%
項目17 : ホームルーム活動は意義がある	75.9%
項目10 : 快適な学校生活のための環境整備や清掃等をしている	71.8%
項目16 : 学習のわからないところを質問するなどして解決している	62.6%

●肯定的評価が少ないもの（今年度60%未満）

項目18 : 読書により視野を広げようとしている	46.8%
--------------------------	-------

[まとめ]

- ① 回収率は99.0%、18項目中11項目が80%以上の高評価を得ており、おおむね本校の教育活動が生徒の実態を踏まえて行われていること、生徒がそれを受け止めていることがうかがえる。
- ② 項目10「快適な学校環境」については、近年の猛暑などの影響があり、冷暖房設備の要望が多かった。本校は令和3年度に県でエアコンを設置する計画となっている。
- ③ 項目16「学習してわからないところをよく質問に行く」は昨年から見ると、36.7%だったことと比較すると激増しており、学習への意欲や主体性をもって取り組んでいる生徒が多くなっている。
- ④ 項目18「読書に励み視野を広げようとしている」については、学習センター（学校図書室）を中心に読書を推進する企画を実施するなど様々な取組みを進めているが、今後とも継続していくことが求められる。
- ⑤ 番号11「いじめ防止への丁寧な指導を行っている」、番号12「先生は体罰を行っていない」については、肯定的評価が100%になるよう引き続き努める必要がある。
- ⑥ 記述していただいた意見については、教職員が適切に状況を把握して課題の共有を行い、その改善に努めています。